

*Buon Natale
&
Felice Anno Nuovo*



Photo by Nagatani

2020 Winter - 2021 Spring

皆様のご健康とご多幸をお祈りして

Vol.54

MILAN 菓子 TOKYO

<http://www.kaolucco.com>

2020 KAOLVCO COLLECTION

2020 KAOLVCO COLLECTION *Caprese* カプレーゼはいかが？

五月から延期になっておりました新作個展「Caprese カプレーゼはいかが？」が、ラ・ロシュエル南青山で9月24日に開催され、盛会のうちに終了させて頂きました。

カプリをテーマとした作品の数々を、モデルによる華麗なファッションショーとラ・ロシュエルのお料理とともにご紹介させていただきました。恒例のジュエリーファッションショーでは、渡辺恭子アナの爽やかな進行により数々の新作ジュエリーが紹介されました。お馴染みのモデル斉藤美和さんのジュエリーを美しく装うウォーキングのアドバイスや、EVAさんの華麗なプレゼンテーションに加えて、特別ゲストの三四朗さんのサクソ演奏が雰囲気を盛り上げました。

また、夜の部にはデヴィ・スカルノ夫人、ジャズシンガーのマリーンさんや朝倉匠子さんもお祝いに駆けつけて下さり、大変華やかな宵となりました。

会場では密にならないよう御招待人数を制限させていただき空間をとっての陳列、オゾン発生器を設置。スタッフのマスクの着用や手指消毒、健康管理を徹底致しました。テーブルには透明パーテーションを設置し、感染症対策は万全の状態で開催されたので、お客様も安心して「カプレーゼはいかが？」を楽しんでいらっしゃいました。久々にお出かけをされた方も多くみられ、口々に「おしゃれの楽しさを再発見した。」というお声が聞かれました。ありがとうございました。



「碧の幻想」



「碧の幻想」

「碧の幻想」と題されたカプリ島の青の洞窟のブルーをイメージしたブルートパーズ（コンケープカット）に、ミラーボールカットのラピスラズリのネックレスとイヤリング。

碧の濃淡が美しく調和しています。



「カプリ」と題したブローチ。麗気楼のような海と星が輝く幻想の世界。

「カプリの月」シンプルなフォルムにすっきりしたラインが美しいブローチ。

上質のエメラルドを使用したペンダントとリング。



2020 KAOLVCO COLLECTION

ラ・ロシェルオーナーシェフのムッシュ坂井氏も、カプリをイメージした芸術的ともいえるお料理をメニューから考えて作っていただきました。下は、カプリの海をイメージしたドリンクとテーブルコーディネートに、青の洞窟とタイトルしたデザート。



KAOLVCO COLLECTION の♡こだわり♡ ～音楽とジュエリーと

新作コレクションのジュエリーショーの音楽は、毎回テーマに合わせて水野薫子が選曲していますが、コレクションではいつもこだわりの曲がいっぱいです。

今回は「カプリゼはいかが？」をテーマに、カプリ島周辺をイメージして作品を制作しましたので、それに合わせて・1曲目は**ニュー・シネマ・パラダイス**。これはイタリアの映画の主題歌で、イタリアで最も有名な映画音楽作曲家であるエンニオ・モリコーネの作品です。少年時代を過ごした街の映画館「シネマパラダイス」の思い出から始まるこの映画のイメージから、EVAがハンティングの少年の服装に『扉とピエロ』のブローチや、『夢見る扉』と題された御製のジュエリーとともに登場しました。

・2曲目は、**オー・ソレ・ミオ**。いわずとしたナポリ民謡で最も有名な曲です。歌はアンドレア・ボッチェリ。盲目のオペラ歌手で「Time to say good bye」を歌った人といえ、お分かいただけます。オー・ソレ・ミオは、私の太陽という意味で、「私の太陽はあなた」と誓う愛の歌です。三四郎が『ユニコーン』のブローチを着けて演奏します。

・3曲目は、**マ・アモーレ・ノー**。イタリア映画「マレーネ」の主題歌で、これもエンニオ・モリコーネが手掛けました。村一番の美人で未亡人のマレーネを取り巻く人間模様を描かれている映画です。黒いドレスを纏った斉藤美和が『太陽と月』のペンダントを着用しています。

・4曲目の**エステーテ**はイタリアの曲ですが、ブラジル人ジョアン・ジルベルトがボサノバ風に歌い、アメリカで爆発的なヒットとなった曲です。エステーテは「夏」という意味で、夏の恋の思い出を歌った曲です。

・5曲目の**アネマ・エ・コーレ**は、こちらもナポリ民謡で、ナポリ方言で歌われます。ナポリにはたくさんのナポリ方言の歌があり、そのほとんど(というより全部)が、愛の歌。このアネマ・エ・コーレも、魂と心を意味し「全身全霊をかけてあなたを愛しています」と、歌われます。EVAがブルートパーズのペンダント『LUNA』を、斉藤美和がエメラルドのネックレス&リング『カプリ』に、今回大人気だった『カプリの月』のブローチを着けて登場します。

・6曲目は、**ヴォラーレ**。第一回サンレモ音楽祭の優勝曲であるヴォラーレは、世界中の人が知っているイタリアの曲です。空の青さに吸い込まれるように飛ぼうというこの曲はアップテンポな明るい曲ですが、最後に「君の瞳の青の中で」というフレーズがあり、やはり愛の歌です。三四郎のサクソ演奏で会場は手拍子の渦となり、なんと来場されていたマリーンさんの熱唱も聞かれました。

・そしてラスト、カプリ島の青の洞窟をイメージした美しいブルートパーズのネックレスを着けて登場したモデルのバックに流れるのは、**帰れソレント**。ソレントの美しい自然と恋心を歌うこの曲をご存知の方も多いでしょう。ソレントはナポリ湾の隣に位置し、カプリ島はソレントやナポリから近く船で30分ほどのところにあります。『碧の幻想』は美しいナポリの海をイメージしています。この模様はYouTubeでもご覧になれます。<https://youtu.be/rljwJmKYVlg>



2020年 Media Information

- ① 3月1日発行「時宝光学新聞 第1680号」
水野薫子新作個展『Caprese カブレゼはいかが?』開催予告
松屋銀座デヴィスカルノ展「トリトン 海からの贈り物」オブジェ展示告知
- ② 8月15日発行「時宝光学新聞 第1691号」
水野薫子新作個展『Caprese カブレゼはいかが?』開催予告
- ③ 10月1日発行「時宝光学新聞 第1694号」
水野薫子新作個展『Caprese カブレゼはいかが?』発表
- ④ 11月1日発行「JEWEL ビジネス版 No.516号 2020 NOVEMBER」
水野薫子新作作品「太陽と月」ブローチペンダント 表紙
水野薫子新作個展『Caprese カブレゼはいかが?』発表
- ⑤ 11月発行「JAPAN PRECIOUS No.100 Winter 2020」
水野薫子新作個展『Caprese カブレゼはいかが?』発表



① 時宝光学新聞 第1680号 ② 時宝光学新聞 第1691号 ③ 時宝光学新聞 第1694号



④ JEWEL No.516号 2020 NOVEMBER ⑤ JAPAN PRECIOUS No.100 Winter 2020

長谷京治 展覧会「Museo Scalvini」で開催

ミラノ在住の彫刻家長谷京治氏の展覧会が、ミラノから20kmほど北にあるDesioという街で開催されました。

会場は16世紀に建てられたVilla Tittoniという館で、今はMuseo Scalviniという美術館になっています。初日の夕方6時から市長のスピーチによる開会のセレモニーがありました。

また、箱根彫刻の森美術館、東京駅仲通りの作品も現在展示中です。



北イタリアの、特にミラノでクリスマス時期にだけ食べるパネトーネという伝統的なお菓子があります。パネトーネ種を発酵させたものと小麦粉を混ぜて、ドライフルーツを入れて焼いたドーム型のパンで、クリスマスの4週間ぐらい前から出回ります。ミラノで初めて個展を開催した年のクリスマス、恩師であるミザーニ氏がカフェ・コーヴァのパネトーネをプレゼントしてくれました。カフェ・コーヴァはミラノの「モンテ・ナポレオーネ通り」にあるカフェで、ミラノ一美味しいと評判のパネトーネはとても優しい味がしました。

ドイツでもクリスマスだけに食べるシュトレンというお菓子もあるそうです。シュトレンとはトンネルという意味で形はトンネル型、パネトーネよりも水分が少なく生地が濃厚で、焼き上げたケーキの上には真っ白くなるまで粉砂糖がまぶされているのが特徴です。その形が幼子イエスを産着で包んでいるように見え、司教へクリスマスに贈呈した1329年から広まったと言われています。

温かいコーヒーとクリスマス菓子と共に迎えるクリスマス。無事に今年を過ごせたことに感謝します。

皆様もお元気で過ごしてください。 Buon Natale & Felice Anno Nuovo! 水野 薫子



KAOLVCO